



年頭の「ごあいさつ」

自由民主党岩手県支部連合会
会長 藤原 崇

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。昨年も一年間、皆様方からは県連運営に一方ならぬ高配を賜り、誠にありがとうございます。

昨年来一番の政策課題は、新型コロナウイルス感染症への対応です。昨年は、自民党岩手県連として、県内諸団体への三週にわたる要望聴取、市町村要望聴取等を行い、その結果を、国と県へと繋いでまいりました。その中で、関係団体や地域の皆様の声を少しでも国や県の政策に活かされたかと思っております。

更には、昨年後半からの大雪への対応として、現地調査を実施し、国や県への提言活動を行ってまいりましたし、引き続き必要な活動を行ってまいります。

私自身、県連を運営するにあたっての基本的な考え方は、「県民の役に立つ自民党」です。県民の皆様が我々自民党岩手県連に期待しているのは、選挙で勝つことではなく、政党として仕事をしていくことだと思っております。人口減少問題、ILC、復興、農林、医療、様々な政策課題の一つ一つ取り組んでいくことこそが肝要です。特に復興については、十年の節目を迎え、新たな取り組みの段階を迎えていきます。そして一つ一つの政策課題に地道に取り組むことが、結果的に県民の皆様の支持を集めることにも繋がると感じております。

今年も衆議院において任期満了を迎える年ですが、まず行うべきことは、政権与党としての立場で、新型コロナウイルス感染症への対応を政府に促し、同時に経済的な下支えにおいて国、県、市町村間の連携を取り持つことだと思えます。国民・県民のためにはしっかりと働き姿勢で、県連は取り組んでまいりますので、引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

大雪被害の現場調査、知事要望



昨年末からの大雪により、県南部では農業用パイプハウス等の倒壊をはじめ、農業施設や農作物等に甚大が被害が出ております。自民党岩手県支部連合会・県議会自民党では一月五日、七日の二日間におわたり、一関市、花巻市、北上市、奥州市、金ヶ崎町にて現地視察と関係者からのヒアリングを行いました。

その上で、早急な被害状況の把握と離農や農業後継者の再建意欲の減退などにより農業生産力の低下をきたすことのないよう、実態に即した対策を早急に講ずることなど大きく5項目について一月一五日に知事に対して要望を行いました。

被害の全容はまだ見えていませんが、自民党岩手県支部連合会・県議会自民党では農業者はもとより、市町村や関係団体と情報や課題の共有を通じて、早期復旧と再開に向けてしっかりと取り組んでまいります。

青年局遊説を実施

一月九日、年始のご挨拶、昨年度の活動のご報告、今年の活動を含め、宮古市、山田町、釜石市、北上市、花巻市、矢巾町と計六箇所において街頭からお話をさせていただきました。

今年も状況を鑑みながら、青年局遊説を実施する予定としておりますのでご理解、ご協力を是非よろしくお願いいたします。